

副専攻名 地域研究・ヨーロッパ

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

学類およびコースのCP(カリキュラム編成方針)現代ヨーロッパの社会と文化を中心に、経済や政治を含め総合的見地から、ヨーロッパとその文明を理解できるよう、多彩な授業を学年進行に従い、易から難へ連続的に達成できるよう工夫している

副専攻の学習成果

「ヨーロッパとその周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の目指している、価値の多様性を踏まえた文化的寛容の精神を身につけることができるようになる

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52401	西洋近・現代史概説1	近代ヨーロッパにおける民主主義、民族主義発展の諸相を考察し、近代国家ないしは市民社会の本質につき理解を深める	2~4		
52901	西洋近・現代史概説2		2~4		
52404	現代ヨーロッパ社会論1	ヨーロッパの現代社会が抱えているさまざまな問題についての分析・議論を通じて現代ヨーロッパについての理解を深める。それと同時に日本の現代社会への視座をも獲得する。	2~4		
52904	現代ヨーロッパ社会論2		2~4		
52405	ヨーロッパの宗教1	ヨーロッパの宗教、特にキリスト教についての知見を広げ、ヨーロッパをよりよく理解できるようにする	2~4		
52905	ヨーロッパの宗教2		2~4		
52445	ヨーロッパ生活論1E	ヨーロッパ文化のさまざまなキイ概念を理解できるようになる(英語)	2~4		
52945	ヨーロッパ生活論2E		2~4		
51406	社会思想史A	ヘーゲルの『法の哲学』を材料に西洋近代における「自由な意志」の意味や機能につき考察する	2~4		
51407	社会思想史B	近代的反ユダヤ主義の台頭と東欧のユダヤ人問題の深刻化を背景としてシオニズム運動が発生する経緯を理解できるようになる	2~4		
51402	西洋経済史A	近代から現代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 ・経済学的な分析手法の基礎を習得することができる ・現在のヨーロッパ経済の歴史的基礎を理解することができる	2~4		
51476	西洋経済史BE	古代から近代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 ・経済史から経済学にアプローチする手法を身に付けることができる ・現在のヨーロッパ経済の歴史的基礎を理解することができる	2~4		
51403	西洋経済史B ※2	古代から近代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 ・経済史から経済学にアプローチする手法を身に付けることができる ・現在のヨーロッパ経済の歴史的基礎を理解することができる	2~4		
52410	美術史1E	様式史としての西洋美術史を通じて人間と美術の関係につき理解できるようになる	2~4		
52910	美術史2E	主として西欧におけるルネサンス美術の形成について、その時代背景を踏まえて理解できるようになる	2~4		
51413	ドイツ文学史A	ドイツ文学の歴史(ロマン主義まで)についての知見を獲得し、ドイツ文化をよりよく理解できるようになる	2~4		
51414	ドイツ文学史B	ドイツ文学の歴史(写実主義から)についての知見を獲得し、ドイツ文化をよりよく理解できるようになる	2~4		
51415	フランス文学史A	中世から18世紀までのフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解できるようになる	2~4		
51416	フランス文学史B	19世紀から20世紀のフランス文学の歴史的背景を確認し、その内的発展と文学創造の必要性を理解する	2~4		

副専攻名 地域研究・ヨーロッパ

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

学類およびコースのCP(カリキュラム編成方針)現代ヨーロッパの社会と文化を中心に、経済や政治を含め総合的見地から、ヨーロッパとその文明を理解できるよう、多彩な授業を学年進行に従い、易から難へ連続的に達成できるよう工夫している

副専攻の学習成果

「ヨーロッパとその周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の目指している、価値の多様性を踏まえた文化的寛容の精神を身につけることができるようになる

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
51412	ヨーロッパ社会言語学	主にドイツ語や英語と比較することにより、母語の言語行動の自明性を相対化し、異文化間コミュニケーションの問題に関心がもてるようになる	2~4		
52446	ヨーロッパ研究特論1	フランスを中心としたヨーロッパの飲食文化と風景について、それらの関係性ととも、日本の場合との比較を通して、表象という点から多面的に考察できるようになる	2~4		
52946	ヨーロッパ研究特論2		2~4		
52468	ヨーロッパ歴史特論A1	イタリアを中心としたヨーロッパ諸国の発展の諸相を歴史的に考察する	2~4		
52968	ヨーロッパ歴史特論A2		2~4		
52469	ヨーロッパ歴史特論B1	スペインを中心としたヨーロッパ諸国の発展の諸相を歴史的に考察する	3~4		
52969	ヨーロッパ歴史特論B2		3~4		
52470	ヨーロッパ文化特論A1	フランス語圏の歴史を縦軸に、フランス語圏の実情、文化についての考察を、とくに現代日本に関わりの深いところを重点的に進める	2~4		
52970	ヨーロッパ文化特論A2		2~4		
52471	ヨーロッパ文化特論B1	19世紀のヨーロッパ文学の流れを概観、おもにフランス文学とスペイン語文学の影響関係について知識を深める	3~4		
52971	ヨーロッパ文化特論B2		3~4		
52472	ヨーロッパ社会特論A1	グリム童話に代表されるドイツの童話を素材に、ヨーロッパ的心性とは何かを探る	2~4		
52972	ヨーロッパ社会特論A2		2~4		
52473	ヨーロッパ社会特論B1	ドイツを素材として現代ヨーロッパの社会的諸問題を考察する	3~4		
52973	ヨーロッパ社会特論B2		3~4		

※1 開講期は、Webシラバスでご確認ください。

※2 国際学類で「社会」(中学)、「地理歴史」(高校)の教員免許取得を目指す学生のみ履修、他の学生は「西洋経済史BE」を履修してください。